

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
秘書広報課 ☎22-8112

険しい山道を登る参加者



ステージで堂々と歌と踊りを披露



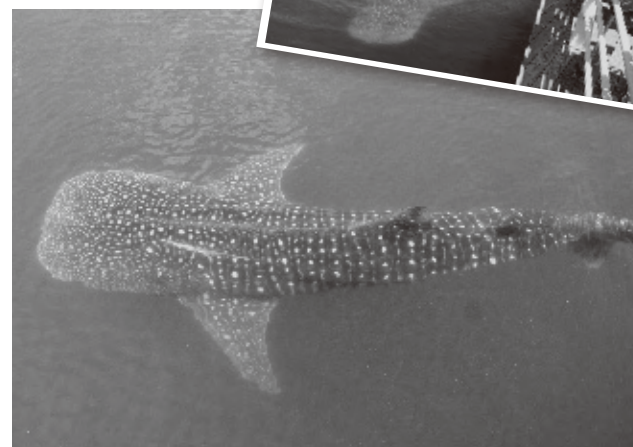
多くの方が訪れカメラや携帯で撮影



岸壁ギリギリを泳ぐジンベエザメ



周遊するジンベエザメ



赤坂山の頂上目指し

9月25日 赤坂山市民登山

多くの人に登山を楽しんでもらおうと「赤坂山市民登山」が行われ、25人の市民が参加しました。赤坂山で市民登山が行われるのは初めてで、市民にはあまり知られていないが、人気のある山を皆さんに体験してもらいたいという理由で選ばれました。参加者たちは9時から登山を開始し、途中で休憩を挟みながら約2時間半の登山を楽しみました。参加者は、「こうやってたくさんの人と登山ができるのは楽しい」と額に汗をかきながら、登山を楽しんでいました。



敦賀っ子 歌い 舞う

9月25日 第4回こどもミュージカル

敦賀市出身のジャズダンサー^{みしろまさし}三代真史氏の指導のもと、小中学生がミュージカルに挑戦する「第4回敦賀こどもミュージカル」が市民文化センターで行われました。今年は「アンダーワールド～地底の国の冒険～」という演目で、出演した敦賀っ子は小学校3年生から高校2年生までの56人。4カ月の間練習を重ねたダンスと歌を披露しました。来場者は「とてもよかった。子どもたちがやっているものとは思えないほど、よい出来だった」と感動していました。



ジンベエザメがやってきた!

9月8日 ジンベエザメを発見

金ヶ崎緑地で散歩中の市民がジンベエザメを発見しました。ジンベエザメが湾内で見られるのは珍しく、多くの人がかけて、携帯やカメラ片手に写真を撮る姿が見られました。訪れた人は、「水族館でしか見たことがなかったから、野生のジンベエザメを見ることができてすごくうれしい。見ることができて幸運だ」と喜んでいました。市観光協会ではジンベエザメの愛称を募集し応募の中で一番多かった「ツルベイ」に決定。残念ながら2日程で姿を消したため、「ツルベイ」を土日に見ることはできませんでしたが、敦賀に明るい話題を運んでくれました。

高木氏の指導のもと作品作りに励む参加者たち



懸命に稲を刈る子どもたち



小さな和紙が野菜に変身

10月1日 高木栄子講座

相生町の博物館通りにある紙わらべ資料館で^{たかぎえいこ}「高木栄子講座」が行われました。この日は、10人の参加者が和紙を使ったミニチュア作りに挑戦。高木氏に手ほどきを受けながら、ネギやじゃがいも、さつまいもの小さな野菜を作りました。参加者は、小さな和紙を加工するのに手間取る場面も見られましたが、1つ出来上がるたびに作品を見せ合うなど、とても楽しそうに作品作りに没頭していました。



植えた稲を自分たちで収穫

9月26日 田んぼの学校

市内各地で「田んぼの学校」が行われ、自分たちで5月に植えた稲を刈り取りました。五幡区では26日に敦賀西・中央・敦賀北小学校の子どもたちが、五幡地区農業生産組合組合長の^{かわくぼる}川久保幸雄氏の指導のもと、かまを片手に稲刈りを開始。初めはなかなか刈り取れず苦勞する場面もありましたが、慣れてくると、友達と刈るスピードや範囲を競いながら楽しそうに稲刈りを行っていました。

獅子の頭を高く上げる「高山の舞」



均一になるよう慎重に種をまく参加者



獅子高く舞う

9月18日 赤崎獅子舞

赤崎の八幡神社で県の無形民俗文化財に指定されている「赤崎獅子舞」が行われました。獅子舞は、神殿前で始まる「鈴の舞」や獅子がかにを探すユニークな「蟹拾いの舞」、演じ手2人が肩車をして獅子の頭が高くなる大迫力の「高山の舞」など7つの演目から構成。残暑の中、1時間半に及ぶ獅子舞が奉納され、訪れた多くの観客は勇壮な獅子の姿に見入っていました。



伝統野菜を自宅で栽培

9月11日 古田苺かぶらの種まき

伝統野菜の「古田苺かぶらの種まき」が同区の町内公民館で行われました。この種まきは、古田川区自治会が市の地域じまんづくり事業の認定を受けて実施したもので、この日は区民約30人が参加。館内で古田苺かぶらの歴史や栽培方法の説明を受け、外に用意されたプランターに種をまきました。同区で11月に開催される文化祭では、今回育てた古田苺かぶらの品評会も行われる予定です。